

金沢市の男女共同参画

男女共同参画社会の実現に向けて、
金沢市では「新金沢市男女共同参画推進行動計画」
(H25～34)を策定しています。

●重点課題

特に早急に取り組む必要のある次の5つの課題については、計画前期期間（5年間）において、重点的に施策を展開します。

- 1 社会における女性の活躍（ポジティブ・アクション）の促進
- 2 方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大
- 3 ワーク・ライフ・バランスの推進
- 4 地域コミュニティ活動等における男女共同参画の推進
- 5 配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援の充実



計画の基本目標

男女共同参画の推進に向けた意識の改革

一人ひとりの意識の中にある社会的性別（ジェンダー）の存在に気づき、男女平等の意識を高めます。

方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大

あらゆる分野における女性の参画拡大を推進するため、意識の高揚と指導的地位に就く女性の人材を育成します。

就業分野において男女が個性と能力を發揮できる社会の実現

経済の活性化には女性の活躍が不可欠であるため、企業等における働く環境の整備に向け積極的に働きかけます。

ワーク・ライフ・バランスの推進

仕事、家事、育児、介護、地域活動の両立は社会全体の課題です。事業者・市民・行政が連携して取組を進めます。

女性の人権と身体が守られる社会の実現

男女が互いの性を尊重し、性と生殖に関する健康と権利を認め合い、対等で暴力のない社会をつくります。

国際社会を視野に入れた男女共同参画の推進

女性の地位向上のための国際規範や基準について理解を深め、地域の問題や課題に気づく視点を養います。

金沢市男女共同参画都市宣言

私たちのまち金沢は、市民一人ひとりが、歴史と伝統に学び、個性豊かな風格と活力のあるまちづくりを進めてきた。

すべての人が性別にかかわらず尊重される社会の実現のためには、市民一人ひとりが互いの違いを認め、あらゆる分野に平等な立場で参画する機会が確保されるとともに、国際社会における取り組みと協調し、連携を深めていくことが重要である。

よって、私たちすべての市民は、次代を生きる若者や子供たちが個性と能力を發揮できる未来とするため、男女共同参画都市となることを宣言する。

（平成25年12月16日金沢市議会議決）



男女共同参画についての相談窓口



- 男女共同参画についての相談、市の施策への意見等
金沢市人権女性政策推進課 ☎(076) 220-2095
- 夫等からの暴力や家庭内の問題など悩みごと相談
金沢市女性相談支援室 ☎(076) 220-2554
- 人権に関する相談
金沢市人権女性政策推進課 ☎(076) 220-2071
- 性犯罪被害やストーカー被害等の相談
石川県警察本部レディース通話110番 ☎(076) 225-0281

発行

金沢市市民局人権女性政策推進課
〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
TEL 076-220-2095
E-mail : jinkenjyosei@city.kanazawa.lg.jp



～ささえあつて 輝いて あなたもわたしも 未来へ向かって～

一人ひとりが尊重される 社会のために



男女共同参画社会とは

男性も女性もすべての人が、生き生きと充実した生活を送ることができる社会です。
男女共同参画について一緒に考えてみませんか。

金沢市

家庭で協力できていますか？

あなたの男女共同参画に対する意識は？

「はい」「いいえ」でお答えください

1. 妻が外出すると、夫の機嫌が悪いのはしかたがない。
2. 「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない。
3. 父親が子どもの友だちの名前がわからないのは仕方ない。
4. 家庭内の重要なことは、夫の意見が優先されるべきである。
5. 女の子には優しく、男の子にはたくましく育てほしい。
6. 家事の手伝いをつい娘にさせてしまう。又は男の子が家事の手伝いをしなくても気にならない。
7. 子どもの参観日に出席するのは母親の役割である。
8. 子どもが小さいうちは、母親が側にいるべきだ。
9. 台所は妻（女性）の城である。
10. 妻が仕事をするのはいいが、家事の手抜きをするのは好ましくない。



「いいえ」の数が.....

0~4個
考えてみよう
(>_<)

▶性別で役割が固定された家庭で、家族みんなが「自分らしい」生き方をしていますか？ 男は仕事、女は家庭という考え方を、少し変えてみませんか。

5~7個
あと一步
(^_^;)

▶夫婦（男女）の間に上下関係はないつもりでも、まだまだ夫中心、男性優位になっていることが多いようです。身近なところから意識と行動を見直していきましょう。

8~10個
このままで
(^o^)

▶家族全員が協力し、尊重し合いながら、男女平等な関係を築いています。あなたの性別にとらわれない考え方を、周りにも波及させて、快適な生活の場を広げていきましょう。

あなたの意識はどうでしたか、性別に縛られていませんか。

みんながいきいきと暮らせていますか？

なぜ地域での男女共同参画が必要なの？

みなさんを取り巻く身近な地域社会において、男性か女性かによって役割や出番を決められたことはありませんか。町会の日常的な活動は女性が行っていても、役員は男性がするものと決まっていますか。地域には、地域の情報や人とのつながりが豊富な女性がたくさんいます。女性も積極的に役員等を引き受ける姿勢が大切です。また、男性も退職後には、地域活動に関わり、男女が協力して参画していきましょう。



女性の視点で考える災害・防災

3.11 東日本大震災での避難者の声や支援者から学び、女性の視点で考える防災のまちづくりが必要とされています。災害はいつどんな状況で起こるかわかりません。日頃から災害時における年齢や男女のニーズの違いを考慮して防災体制を整え、それぞれの立場の意見を尊重しましょう。そして、男女が協力し合い地域の人たちの安全・安心を守ることが大切です。

◆ 避難所運営も女性の視点があるといいですね。

- 管理責任者は男女両方を配置
- 自治的な運営組織の役員への女性の参画の確保
- 女性や子育て家庭の意見及びニーズの把握
- 女性用品（生理用品、下着等）の女性の担当者による配布
- 避難者による食事作り・片付け、清掃等の役割分担（男女を問わずできる人が分担）
- 相談体制の整備、専門職と連携したメンタルケア・健康相談の実施（男女両方の相談員の配置）

私たちのまちのこと、みんなで参加しみんなで考えよう。

自分の能力を発揮できていますか？

ワークライフバランス（仕事と生活の調和）はなぜ必要？

一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすためには、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択できることが重要です。



企業にとってデメリット！

ワークライフバランスは、「ワーク」と「ライフ」のバランスをとり、多様なライフスタイルや生き方を受容するための取り組みです。「メリハリのある働き方」は、労働時間の短縮だけではなく、働く人の意欲の向上につながり、時間生産性を向上させます。

あなたの職場でこんなことはありませんか？

- 女性は補助的な仕事
- 育児休暇や介護休暇の取得は女性
- 会議の場に女性がいない
- 採用や昇任・登用の際に人物や能力だけでなく性別を重視

性別により職場での役割が決まるのではなく「能力重視」が個人の意欲につながります！！

「営業は男性、事務は女性」など、性別によって仕事内容の向き不向きはありません。また、働く女性にとって、まだまだ家事・育児・介護は大きな負担となっています。

企業は、仕事と家庭を両立できる環境づくりをすすめるとともに、性別にかかわらず個人の能力に見合った責任ある仕事を任せることで、男女ともに意欲的に取り組むことができ、そのことが企業の発展につながります。



経営者の意識、働く者の意識、一緒に話し合ってみませんか。